

平成22年8月24日

ロビー展「地元在住の画家・写真家がたどる『五足の靴』絵画展・写真展」の開催

ふくおかフィナンシャルグループ（取締役会長兼社長 谷 正明）は、グループCSR活動方針に基づく『生涯学習支援』の一環として、ロビー展「地元在住の画家・写真家がたどる『五足の靴』絵画展・写真展」を当社グループの5営業拠点で下記のとおり開催いたします。

明治40年夏、与謝野鉄幹をはじめとする5人の詩人により発表された『五足の靴』は、FFGのホームグラウンドである福岡・熊本・長崎を中心とした九州各所を舞台とする紀行文です。本ロビー展では、明治の文学界に大きな足跡を残した『五足の靴』に登場する様々な場面を、今を活躍する九州在住の芸術家たちが新たな視点で捉え、描いた作品を展示いたします。

時代を越えて、今、新たな息吹をあげる『五足の靴』の世界をお楽しみください。

記

1. 『五足の靴』とは

- 『五足の靴』は、1907（明治40）年8月7日から9月10日の間、「東京二六新聞」紙上で「五人づれ」の名で連載された紀行文です。
- 「五人づれ」とは、新詩社を主宰する当時35歳の与謝野寛（鉄幹）およびその同人である20代の若き詩人たち（北原白秋、吉井勇、木下杢太郎〔太田正雄〕、平野万里）のこと。7月下旬から8月末にかけて福岡・熊本・長崎を中心とする九州各所を探訪した思い出が、「五足の靴が五個の人間を運んで東京を出た」という書き出しで綴られています。
- この九州の旅で、異国情緒に彩られた南蛮文化に触れた彼らの作品は、明治末から大正期にかけての文壇に「南蛮趣味」の流行をもたらす起因にもなったと言われています。

2. 目的・主旨

- 『五足の靴』には、FFGグループのホームグラウンドである北部九州3県の情景が活き活きとした筆致で描かれています。
- 本作品のファンの方にも、また今回初めて触れるという方にも、本ロビー展をきっかけに『五足の靴』への興味・関心を高めていただくことで、ふるさととの情景（歴史の変遷）や、地域との共生について考える機会につながれば幸いです。
- また、本ロビー展で展示する作品は、明治期の文学界に大きな足跡を残した『五足の靴』の世界観を、地元芸術家が新たな視点で捉え、制作した絵画・写真の数々です。こうした展示会を通じて、地元芸術家の活躍の場をご提供しています。



3. 実施概要

展 示 物	紀行文『五足の靴』（主に福岡・熊本・長崎の3県）をテーマにした地元芸術家による絵画・写真
開 催 場 所 開 催 期 間	FFGグループ下記5拠点にて、9/6（月）～11/12（金）の間、2週間ずつ開催 <ul style="list-style-type: none"> ● 福岡銀行 本店営業部：9/6（月）～17（金） 小倉支店：9/21（火）～10/1（金） ● 親和銀行 長崎営業部：10/4（月）～15（金） 本店営業部：10/18（月）～29（金） ● 熊本ファミリー銀行 本店営業部：11/1（月）～12（金） ※ 開催時間：平日9:00～15:00（親和銀行長崎営業部のみ平日9:00～20:00）
協 賛	「五足の靴・文化フォーラム in 九州」実行委員会／福岡県文化団体連合会

《 本件に関するご照会先 》

ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部 担当：川畑
TEL 092-723-2502

銀行のロビーがギャラリーになる

明治期、九州を旅した5人の詩人が綴った紀行文『五足の靴』。彼らが訪ねた土地の風景を、地元で活躍する画家・写真家たちが再び捉え、作品を創り出しました。今回、『五足の靴』にゆかりある福岡、北九州、長崎、佐世保、熊本のふくおかフィナンシャルグループ各銀行ロビーにて展覧会を開催いたします。ギャラリーとなった銀行でのアート鑑賞をお楽しみください。

地元在住の画家・写真家がたどる

「五足の靴」

絵画展・
写真展






下記のように巡回いたします

- 9/6(月)～9/17(金) 福岡銀行本店 〒810-8727 福岡市中央区天神 2-13-1 TEL 092-723-2131
- 9/21(火)～10/1(金) 福岡銀行小倉支店 〒802-0007 北九州市小倉北区船場町 2-1 TEL 093-521-3131
- 10/4(月)～10/15(金) 親和銀行長崎営業部 〒850-0876 長崎市賑町 6-6 TEL 095-824-6111
- 10/18(月)～10/29(金) 親和銀行本店営業部 〒857-0806 佐世保市島瀬町 10-12 TEL 0956-24-5111
- 11/1(月)～11/12(金) 熊本ファミリー銀行本店営業部 〒862-8601 熊本市水前寺 6-29-20 TEL 096-385-1112

※開催時間は午前9時から午後3時までの平日です。(親和銀行長崎営業部は午後8時まで)



 福岡銀行  親和銀行  熊本ファミリー銀行

103年前の夏、九州を旅した若き詩人たち 彼らの文学活動の原点となった「五足の靴」

1907年(明治40年)の7月末から8月にかけて、九州北西部を旅した5人の詩人がいました。東京新詩社『明星』の主宰であった与謝野寛(鉄幹)と、平野萬里、北原白秋、吉井勇、木下杢太郎の4人の新進詩人たち。彼らは福岡、佐賀、長崎、熊本へと旅し、その旅先から『東京二六新聞』に「五人づれ」という名でリレー式紀行文を寄稿。「五足の靴が五個の人間を運んで東京を出た」という文章から始まるこの紀行文は『五足の靴』と題され、計29回に渡って連載されました。このとき与謝野寛は三十代半ば、あとの4人は二十代前半。文中では、自由闊達な精神と身体を持った若者たちが、まばゆい夏の光が降り注ぐ九州で、人に出会い、風景に出合う様が生き活きと描写されています。旅を終え、「五足の靴」を脱いだ彼らが明治の文学界に大きな足跡を残したことはいうまでもありませんが、若き彼らの感受性を刺激したあの夏の旅が、のちの創作活動の原点となったといえるでしょう。

吉井勇は、与謝野寛が黒い背広で、あとの4人は学生服を着ていたので端から見るとまるで修学旅行のように見えたかもしれないと回想している。新聞掲載の際、執筆者の記載はなく、呼称はイニシャルで書かれている。北原白秋(H生)、与謝野寛(K生)、木下杢太郎(M生)、平野萬里(B生)、吉井勇(I生)



9人の地元在住の画家・写真家たちが捉えた「五足の靴」の足跡

約100年前の夏に「五足の靴」の詩人たちが訪れた九州。本展覧会では、「五足の靴」の旅で巡った土地の風景を、地元在住の画家・写真家たちが捉えた作品を展示いたします。5人の詩人が旅の途中に眺めたであろう風景が、今を活躍する芸術家たちに再び見つめられ、生み出された傑作の数々をご覧ください。

池田稔幸 (いけだしゆき)

福岡県北九州市門司生まれ。1983年主体美術展(東京)初入選、以後連続15回入選、作家作家5回受賞。2005年北九州芸術祭美術館賞受賞。主体美術協会会員・北九州美術家連盟会員・文字美術連盟会員

木村浩章 (きむらひろあき)

福岡県大川市生まれ。1963年創元会初入選。1991年久留米市連合文化会市長賞・来目賞受賞。1993年日展初入選、2003年久留米市芸術奨励賞受賞。創元会会員、審査員、運営委員・日本美術家連盟連盟会員、久留米市連合文化会会員

宍戸義徳 (ししどよしのり)

大分県安心院町生まれ。福岡県展福岡市教育委員会賞、朝日新聞社賞受賞。個展・グループ展多数。西部水彩画協会会員・筑紫美術協会会員・日洋展会友

吉川幸作 (よしかわこうさく)

佐賀県唐津市呼子町生まれ。1963年福岡県展・創元展、他入選・入賞。日田紀行絵画展・小鹿田焼の里展・佐賀景勝紀行展など個展多数。2007年九州大学風景画作品集出版。無所属・無位無冠・画家専業

糸山光紀 (いとやまみつりの)

中国青島市生まれ。1964年長崎県美術展知事賞受賞。1965年日宣美西日本展奨励賞、長崎美術展知事賞・文部大臣賞受賞。福岡市、東京銀座、佐世保、オーストラリア等で個展多数

本田克彦 (ほんだかつひこ)

長崎県佐世保市生まれ。1981年新構造社展初出品、翌年奨励賞受賞。1988年佐世保市市民展奨励賞受賞。2008年個展「もうひとつの九十九島」開催

増田正治 (ますだまさはる)

長崎県島原市生まれ。2005年国美術展新人賞、世界平和芸術賞受賞。以後、国際文化栄誉賞、現代芸術奨励賞等、多数受賞。太陽美術協会会員・世界学術文化評議会名誉会員・日本藝術家連盟常任理事・国際書画芸術院名誉理事・日本藝術文化協会常務

井島秀夫 (いじまひでお)

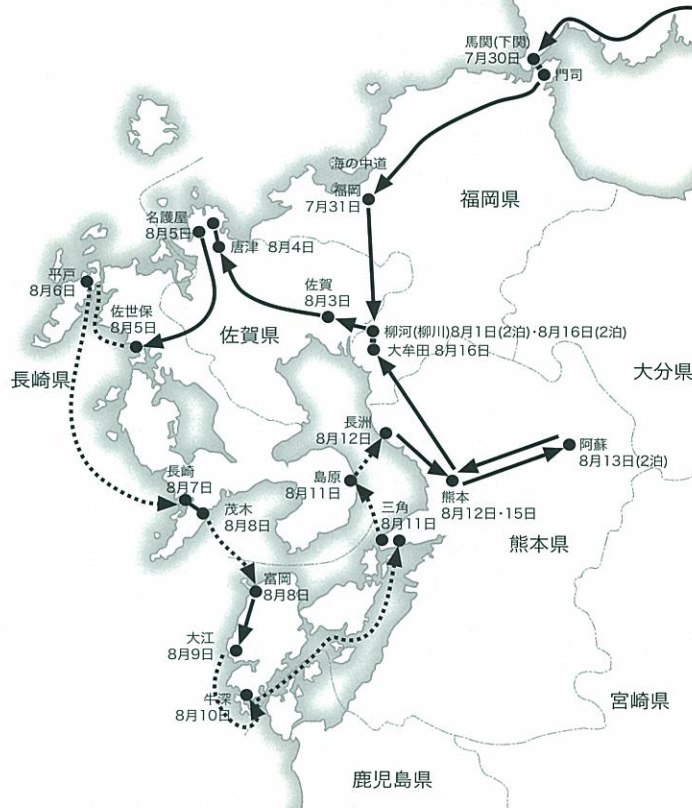
熊本県生まれ。日洋展、二科展、独立展等入選。銀光会熊日賞・会友賞・会員賞、県美展努力賞、熊日総合美術展グランプリ奨励賞、西日本美術展優秀賞・奨励賞等、多数受賞。熊本県文化懇話会会員。熊本県立美術館、北里研究所に作品收藏。

春口忠昭 (はるぐちただあき)

熊本県生まれ。1977年埼玉県美術展入選。1978年双樹会会員(2006年退会)。退職後、阿蘇山の麓にアトリエを創り、阿蘇の風景を中心に作家活動に入る

伊藤征方 (いとうゆきのり)

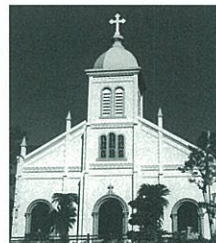
福岡県福岡市生まれ。福岡県吟剣詩舞道連盟副理事長。福岡県文化団体連合会常任理事(広報撮影担当委員)。平成21年11月「五足の靴」写真展開催(アクロス福岡)



「御花」の西洋館(柳川市)



「五足の靴」記念碑(長崎市)



大江天主堂(天草市天草町大江)



山口旅館の記念碑(熊本県阿蘇郡)

主催／株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
協賛／「五足の靴・文化フォーラムin九州」実行委員会
福岡県文化団体連合会